

## 【1・17は忘れない～阪神・淡路大震災から17年～】

京阪神の大学生に行ったアンケートで、「1月17日を阪神・淡路大震災が起こった日だと意識できていない」と答えた学生は、大阪地域に住んでいた学生では41%、兵庫地域に住んでいた学生では20%、その他の地域に住んでいた学生では60%もいたそうだ。(朝日新聞から)大震災から17年が過ぎ、被災地の町並みは、大震災の痕跡を見いだすことが難しい程整備されてきました。けれども、災害復興住宅に住む人の高齢化や住み替えの問題がまだ残り、震災による無力感や喪失感、愛する人を失った悲しみ、心の痛みなども十分には癒えてはいない。また、産業面でも、被災した神戸港は、いまだに震災前の8割しか貨物の取扱量が戻っていないし、廃業や移転を余儀なくされた企業も多いのです。私たちが17日に追悼行事を行い、防災訓練を実施するのは、阪神・淡路大震災の教訓を継承し、命の重さを感じ、人と人とのつながり、絆、助け合う心などを忘れない日とするためなのです。本校でも、おもと保育園の園児も参加して、津波避難訓練を行いました。しかし、「訓練」という意識からか、真剣ではなかった人もいました。集合してからの態度が良かっただけに、残念に思います。非常時に冷静かつ安全に行動することができるためには、避難行動の手順を訓練して体験しておく必要があります。“その時になったらできる”などと、いい加減な態度を取っていたのでは、非常時に自分の命だけではなく、周りの人たちの命までも危険にさらす事になりかねません。どのような時でも“備え”が大切なのです。



追悼の祈り(神戸新聞)

## 【東日本大震災を思う】

去年は、東日本大震災による未曾有の大災害や原発事故が発生した。“想定外”を理由に、災害や事故の復興復旧の遅れなどについて、責任逃れをしようとした企業や政治の無責任さにあきれ、今なお避難生活を強いられ、“日常”を取り戻せていない人々(334,786人!)のことを思うと胸が痛む。遅れる復興復旧に人々の心は、ベシミズム(悲観主義・厭世主義)が支配し、多くの人々は将来に何ら希望を持ってない状況下にあるという。日本人は特に悲観主義に陥りやすいようだ。このような時にこそ『将来の成り行きに明るい希望的な見通しをつける。』ことが必要ではないかと思う。知恵と力を合わせれば、乗り越えられない困難はないと信じ、一刻も早く、復興に希望的な見通しをつける政策の実行を、望みたい。私たちにもできることが、まだまだたくさんあるようにも思う。少しずつ復興が進んでいる様子が報道されているが、“何の根拠もなく、現実を良い方に、気楽に考えること”だけはしたくないと思う。現実の重大性や問題解決の道筋を真剣に考えず“何とかなる”と単純に考えたり、“他人ごと



だ”と知らん顔をしないようにしたい。17年前の阪神淡路大震災ですら、まだ“過去の出来事”ではないのだからね。がんばろう日本、がんばろう東北!

## 【頑張る大成】

(その1)バスケットの兵庫県ジュニア選抜チームに、本校の小野島由衣さんが選出されました。今後『近畿オールスター大会』や『都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会(全国大会)』に出場します。活躍を期待したいと思います。

(その2)契沖顕彰短歌会(参加者 10,143名)

### 契沖賞

大島みなみ 『白い息 ひやりと寒い秋の空  
食欲そそる母の手料理』  
本村純一 『契沖の短歌大会応募して  
表彰されたらとてもうれしい』

### 山ノ井賞

大迫佳太 『勉強で 頭をひねり考える  
結果を見たら涙が出そう』  
東凜太郎 『ひとめぼれ となりの席の女の子  
いつも鼓動がバクバクしてる』

(その3)「尼っ子スピーチフェスティバル」

### 優秀賞

(参加者 10,943名)  
西田琴美 『辞めたい?』

大成中の生徒達が、多くの場面で表彰されると、単純に嬉しいし、そのセンスがうらやましい。私は、絵も習字も作文も一度も表彰されたことがありません。特に人物画など、「お化けを描いたの?」とか言われ、大笑いされました。50年近く経っても覚えています。人の作品はホメましようね。

## 【大きな声で挨拶を】

『沢の鶴』というお酒を造っている杜氏(酒造りの職人)さんの話です。「酒造りは、人を育てることから始まる。チームワークが悪いといい酒はできない。チームワークのコツは、信頼関係を築くこと。まずは大きな声で挨拶する、それで心が通じ合う。そして相手の気持ちになって考え話しかける。チームワークができると、不思議なことに、発酵から熟成にかけて秘かな酒の声も聞こえるようになる。そうならないといい酒はできない。」...その道の達人の言葉には、不変の真理が含まれていると思いませんか。信頼関係は、大きな声で挨拶することからですぞ。

### 【お知らせ】

1月の語る会は、27日(金)19時からです。参加をお待ちしています。

